

〈 開拓の歴史と食育 〉

生乳生産量日本一

～酪農の町『別海』ができるまで～



西別川の河口周辺を意味するアイヌ語の「ベツ・カイエ」（川の折れ曲がっているところ）を語源とする別海は、海岸地域から開拓の歴史が始まりました。明治30年代から徐々に内陸部へと畑作を生活の糧としながら移住が進みます。

ところが、昭和6年から2ヵ年、未曾有の大冷害を被り、別海を含む根室地域は、想像を絶する惨状となり農民は困窮しました。

この窮状を視察した北海道庁長官である佐上真一の号令の下、昭和8年から根室地域は、酪農生産地へのスタートを切ったのです。国や北海道の支援を受け、官民一体となって酪農を生活の糧にすべく先人は汗を流しました。

その10年後、既に北海道庁長官を辞していた佐上は、「根室地域の酪農の様子を見たい」と7年ぶりに根室入りし、当時の農民は、ねじり鉢巻を振りながら歓迎し、佐上の手を取り涙する者も。驚異的な変貌を遂げた根室原野の牛の群れを見て、「根室原野放棄論に打ち克ってくれた」とうれし涙を流しながら佐上は、「牛群雲如」と言葉を残します。

昭和31年には、世界銀行の融資を受けた根釧パイロットファーム事業により機械による開拓がおこなわれ、昭和48年には新酪農村建設事業が着手され、現在の広大な酪農地帯が形成されました。別海町は、今では生乳生産量一位となり、文字通り日本の酪農の町となったのです。



【 アイヌから伝わる160年の時を経た神の水と牛乳のストーリー 】

釧路アイヌの英雄「メンカクシ」が放った矢は豪熊の急所へ。怯まぬ熊の背中にまたがり腰の短刀で一撃。手負いの熊は、摩周の頂から眼下の摩周湖へ転落。メンカクシは、功業を水泡に帰してなるものかと、湖岸に降り立ったものの熊の姿を見失ないます。

ところが後日、摩周湖から三里隔てた沼に流れついた熊を発見し、かの摩周湖の地中を潜りその沼に達したと知るので。その沼は、別海町の母なる川「西別川」の水源でもありました。



…『東蝦夷夜話』より要約



いま、別海町を広く潤し、住む人も牛も「おいしい」と愛する水道水はアイヌの英雄・メンカクシと熊の戦いによって神の湖「摩周湖」の伏流水であることを物語っています。その水を飲んで育った乳牛のミルクが別海の牛乳となります。アイヌから伝わる神の水と牛乳の物語とともに、別海牛乳がいつもあなたの食卓と心に寄り添いますように。イランカラプテ。

〈 未来への食育の取組み 〉
地元の特産物を開発しよう！
～生産者と消費者の交流～

【調理学校の生徒との交流】



食育推進の一環として、将来、食と深く関わるシェフになることを目指す札幌の調理専門学校生徒を、生産現場に招き、実際に地元生産者と交流や、食材が生産されている現場を見学することで、食材を扱う調理従事者として、どのような意識の変化が表れるのかを検証しました。

また、新商品の開発・調理をした料理は、別海町の住民が集まる、食のイベント「サンデーランチマーケット」で提供しました。

そこでは、地元生産者と生徒（未来の調理人）が、食を介して交流する場面も多く見られ、生徒の中には、普段何気なく使用していた道産食材に対して、食材ができる背景や生産者を知ることができて嬉しいと感想を述べていました。

平成 26 年度
フードチェーン食育活動推進事業
報告書

目 次

はじめに	5
第1章 食育活動及びフードチェーンに係る実態把握調査の実施	7
1 全国各地の食育情報発信拠点となっている飲食店におけるアンケート調査	7
2 食育マルシェなどに代表される食育情報発信イベントにおけるアンケート調査	11
(1) 実態把握に向けたアンケート調査	11
(2) 効果検証に関わるアンケート調査	15
ア オータムフェスト、HBC イチオシ!まつり、どさんこプラザ札幌店でのアンケート調査	15
イ 調理専門学校の生徒の生産現場学習におけるアンケート調査	18
ウ 観光船利用者へのアンケート調査	20
エ 札幌での大規模食育イベント～北海道ありがとうマルシェ～におけるアンケート調査	22
3 アンケート調査全般におけるまとめ	25
第2章 農林漁業及び農林水産物の加工流通体験	26
1 調理専門学校の生徒による生産現場学習	27
2 調理専門学校の生徒による商品開発研修	30
(1) 別海町食材を使用した創作メニュー	30
(ア) リヨン風 魚のクネル アメリカーナソース	31
(イ) エビ殻を活用したエビ塩の開発	31
(2) 別海町の食材を使用した創作メニュー～ベルエポック調理専門学校の卒業制作～	31
3 食材学習及び別海町地元住民による秋サケ解体学習の実施	35
(1) 食材学習	35
(2) 別海町立上西春別中学校生徒による秋サケ解体学習	36
4 まとめ	36
第3章 健全な食生活の実践を促すためのイベントの開催	38
1 「別海」ならではの「食」体験及び「食育イベント」の開催	38
(1) グルメスター・細川茂樹 食育トークショー	38
(2) 飲食店における食育プロモーション	40
(3) 北海道親子料理グランプリ	43
(4) 親子大集合!北海道食育マルシェ	47
2 まとめ	51

第4章 食文化の継承・発展活動の推進

- 1 食育情報発信媒体の配布、流通・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
 - (1) 食育情報発信媒体「別海町りょうしくん新聞」・・・・・・・・・・ 53
 - (2) 食育情報発信媒体「サンデーブランチャマーケット食育情報配布チラシ」・・・・・・・・・・ 55
 - (3) 食育情報発信牛乳の流通・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
- 2 ネットによる生産現場、加工現場、流通現場、消費現場の情報発信・・・・・・・・・・ 57
- 3 まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 190

第5章 事業推進、検証のための会議の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 191

第6章 総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 193

第7章 資料編

- 1 アンケート資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 195
 - (1) 全国各地の食育情報発信拠点となっている飲食店におけるアンケート資料・・・・・・・・・・ 195
 - (2) 食育マルシェなどに代表される食育情報発信イベントにおけるアンケート資料・・・・・・・・ 204
 - ア 実態把握に向けたアンケート資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 204
 - イ 効果検証に関わるアンケート資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 208
 - (ア) オータムフェスト、HBC イチオシまつり、どさんこプラザ札幌店でのアンケート資料・ 208
 - (イ) 調理専門学校生徒の生産現場学習におけるアンケート資料・・・・・・・・・・ 210
 - (ウ) 観光船利用者へのアンケート資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 218
 - (エ) 札幌での大規模食育イベント～北海道ありがとうマルシェ～におけるアンケート資料・ 226
- 2 メディア掲載資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 236
 - (1) テレビ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 236
 - (2) 新聞・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 236
 - (3) ラジオ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 239

ほうこ ”食の宝庫” 別海町の しょくいく 食材から学ぶ食育とは

僕たちの住む別海町は、酪農業や水産業といった第一次産業がさかんな町です。
そして、それらの食材から加工された食品は、加工・生産・流通を経て、全国の家庭の
食卓にあがります。別海町で行われている様々な活動をとおして、食育を学んでみよう！

